

修学資金貸付申請上の注意

〈修学資金貸付申請書の記載について〉

- 1 必要事項に記入又は、選択肢に○を付けてください。
 - ・ 記入漏れがないように注意してください。
 - ・ 誤記入の場合は、二重線で訂正してください。
※ 金額は訂正できませんので、新しく書き換えてください。
- 2 家族の状況欄には、本人を除いた同一生計者全員を記載してください。
「年収（円）」欄には、市町長の発行する「令和6年度（令和5年分）所得証明書」に記載されている「合計所得金額」を記入してください。
- 3 貸付希望期間は、令和7年4月から卒業予定年の3月までとし、貸付希望総額は、その期間の合計金額となります。
【貸付希望総額の算定例】
令和7年4月から令和10年3月（卒業予定年）までの36ヶ月間、民間立の看護師等養成所に在籍し貸付を受ける場合 … 1,296,000円（計算方法 36,000円×36ヶ月）
- 4 連帯保証人は、以下の①・②両方の条件を満たす2名（1名での申請は不可）としてください。

- ① 職業のある者
 - ② 連帯保証人2名が生計を別にしてしている者

- ・ 修学資金を受けようとする者が未成年者の場合は、連帯保証人のうち1人は、その未成年者の法定代理人（親権者等）にしてください。（両親を連帯保証人にする場合は、父母のどちらか1名にし、もう1人は父母以外の者にしてください。）
- ・ 連帯保証人本人に直筆で記入してもらってください。
- ・ 連帯保証人は、本人が卒業後に返還免除の通知を受けるまで、あるいは返還が終了するまで責任を負います。

〈その他の提出書類について〉

- 1 前学校を卒業後、年数が経過したため成績証明書が発行できない場合、卒業校がその旨を証明したものを提出してください。
- 2 健康診断書は、3ヶ月以内のものを提出してください。（検査項目の指定はありません）
- 3 市町長の発行する「所得証明書」は、本人を含め同一生計者（申請書の「家族の状況」欄に記載した者）全員分のものを添付してください。
※ 年齢や職業の有無に関わらず、添付する必要があります。